

令和6年度「利用者窓口アンケート」の実施結果

技術センターでは、利用者の皆さまを対象に、利用目的や満足度、ご要望などについて伺う「利用者窓口アンケート」を実施いたしました。集計結果の概要をお知らせします。

ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。今後の事業展開や業務改善に役立てていきます。

1 調査対象

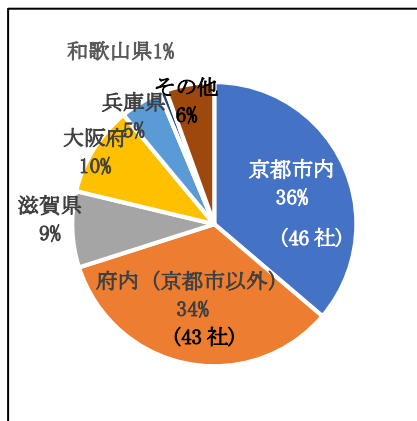
令和6年11月11日から令和7年1月17日の間に「技術相談・依頼試験・機器貸付」のいずれかを利用された方

2 回答数 127件

3 調査結果(概要)

回答者の所属事業所を所在地別に見ると、京都市内36%、京都府内(京都市除く)は34%、京都府外30%に分かれました。(関西圏では大阪府10%、滋賀県9%、兵庫県5%、和歌山県1%) (図1)。

図1 所属事業所の所在地



事業所の業種は、製造業が86%と最も多く、教育6%、卸売業・小売業4%でした。製造業の内訳は電気機械・電子部品がもっとも多く化学・プラスチック、鉄鋼・金属製品と続きました。

今回利用の支援内容と満足度

機器貸付の利用が58%と最も多く、相談+機器貸付22%、依頼試験6%と続きました。

図2 ご利用いただいた支援

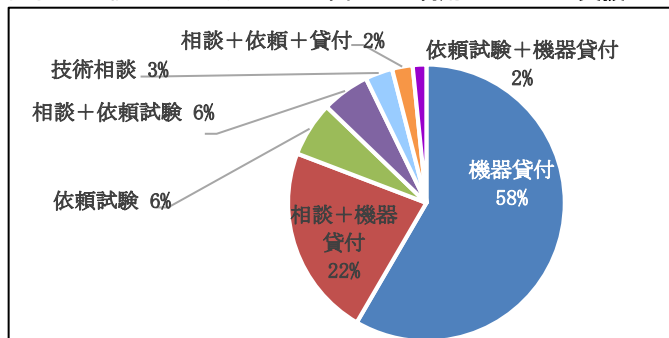
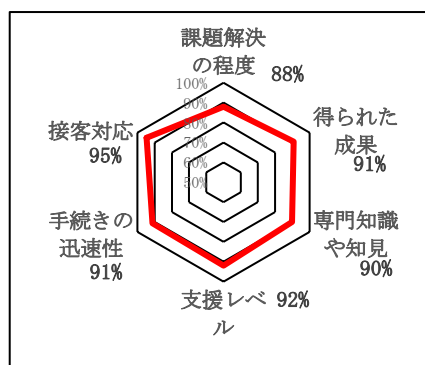


図3 ご利用の満足度

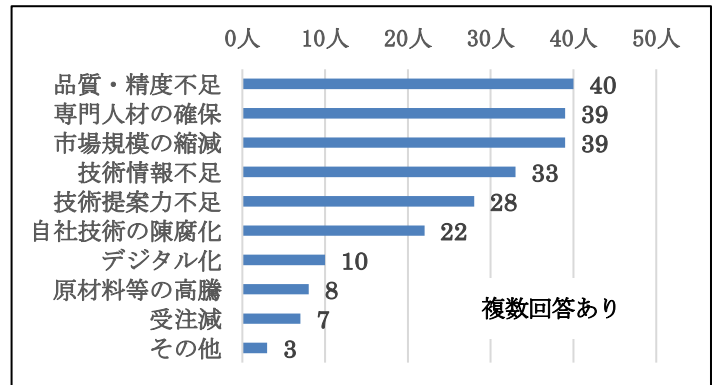
支援の満足度については、接客対応95%、支援レベル92%、手続きの迅速性91%、得られた成果91%、専門知識や知見90%、課題解決88%といずれも高い評価をいただきました。(図3)



自社の課題

自社の課題として品質・精度不足が40人と最も多く、専門人材の確保39人、市場規模の縮減39人、技術情報不足33人と続きました。

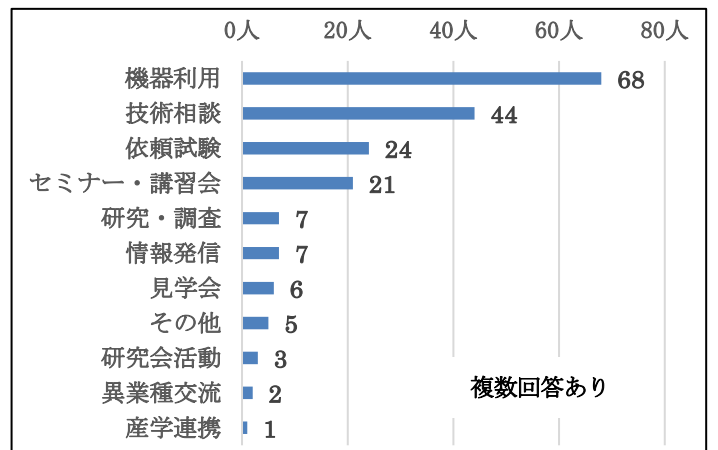
図4 自社の課題



強化・充実を求めること

機器利用が68人(54%)と最も多く、技術相談44人(35%)、依頼試験24人(19%)と続いた。自由記述では、機器の新規導入、更新が多く、利用時間の拡大、技術相談の例示や測定事例の提供などがありました。

図5 強化・充実を求めること



情報発信

利用されている情報発信は、ホームページ88人(69%)、次いでメルマガ12人(9%)でした。

図6 利用されている情報媒体

